

CASBEE® 広島

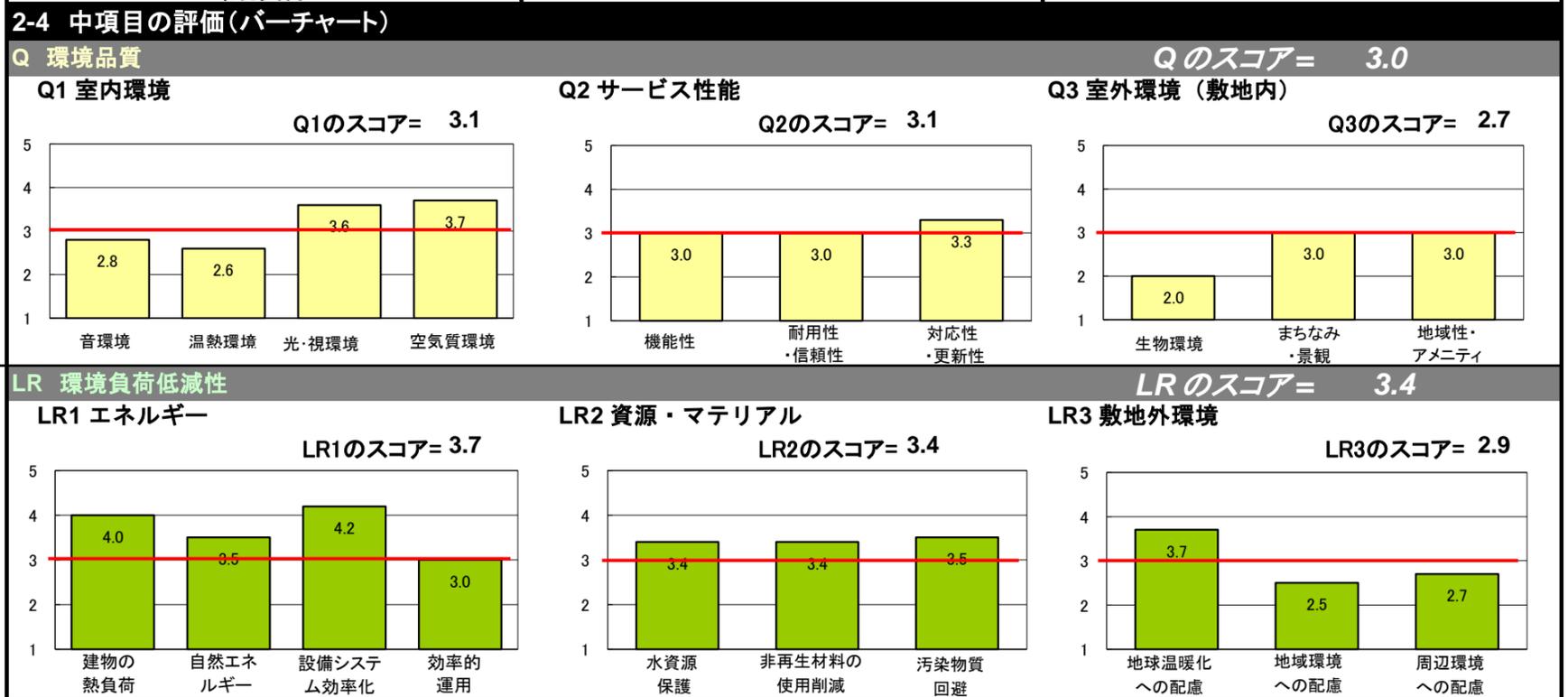
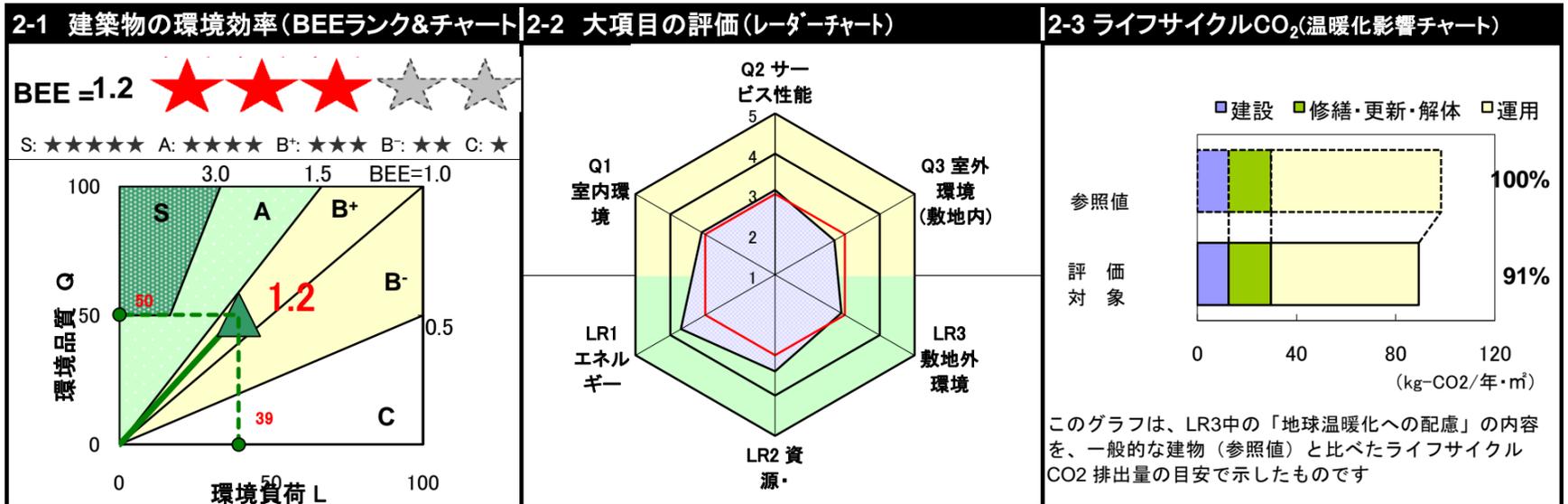
(2010年ver.1)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	広島桜が丘高等学校	階数	地上4F
建設地	広島市東区山根町36番1号	構造	RC造
用途地域	第二種中高層住居専用地域	平均居住人員	860 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	3,750 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年3月 予定	評価の実施日	2010年12月15日
敷地面積	25,706 m ²	作成者	杉田 輝征
建築面積	684 m ²	確認日	
延床面積	2,434 m ²	確認者	杉田 輝征



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.3

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.6	スコア = 2.3	スコア = 3.0
設計の計画上特段に配慮した事項 南側外壁に断熱性能の高い外断熱工法を採用する計画としている。/アトリウムホールを設け、煙突効果による共用部分における換気促進とトップライトからの昼光が利用できる計画としている。/高効率照明を採用する計画としている。//節水型衛生器具や自動水栓を採用する計画としている。/可能な限りCO ₂ の排出を抑制する計画としている。	設計の計画上特段に配慮した事項 広島市緑化推進制度の緑化面積を充分確保できる緑地を有する計画としている。/	設計の計画上特段に配慮した事項 内装仕上材に塗装や可動間仕切壁を多く採用したり、給排水管等の材料に耐久性のある材料を採用することにより、メンテナンス性の良い建物になるよう計画している。/地下部分に設備更新用の地下ピットを設け、躯体に影響を与えずに配管の維持管理が可能な計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される